

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろ」



令和5年
第1回定例会
第 **68** 号
令和5年5月1日
発行



名寄市議会ホームページ

- 定例会で決まったこと 2
- 議決結果・賛否の分かれた議案・意見書 3
- 代表質問・議会日誌 4～5
- 一般質問に10人 6～10
- 予算審査特別委員会の概要・総括質疑 11～12
- 議員協議会 13
- 各常任委員会活動報告 14～16
- 〈特集〉名大生とゲートボール 17
- きぼう（佐野圭市さん、遠藤円さん） 18

題字 名寄市立名寄西小学校 鬼原彩梨(きはらあかり)さん

令和5年 第1回定例会 2月27日～3月24日

▽名風聖苑（火葬場）使用料を引き上げ
 ▽令和5年度名寄市予算総額約49.6億円原案のとおり可決

▽令和5年第1回定例会は、2月27日から3月24日までの26日間の会期で開会。34件の議案を審議
 ▽開会初日に加藤市長から市政執行方針、岸教育長から教育行政執行方針が述べられた
 ▽議案審議では、市民福祉常任委員会付託議案「名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について」施行日を4月1日から7月1日に修正可決
 ▽市民福祉常任委員会付託議案「名寄市国民健康保険条例の一部改正について」を委員長報告のとおり原案可決
 ▽13日に2会派が代表質問、14日から16日には、一般質問で10人の議員が市政の課題について質問

主な条例の制定について

☆名寄市議会の個人情報保護に関する条例の制定について

令和3年5月に「個人情報の保護に関する法律」が施行され、個人情報の取扱いなどに関する共通ルールが設定されました。地方公共団体の個人情報保護制度は、本年4月1日から同法の適用を直接受けませんが、議会は同法の適用対象外となっているため、本市議会が保有する個人情報の取扱いを適切に行うため、議会独自の条例を制定しました。

主な条例の一部改正

☆名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について

火葬場施設の老朽化や燃料高騰などに伴って使用料金を引き上げるため条例の一部を改正しました。

☆国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令などの一部を改正する政令において、令和5年4月1日より、出産育児一時金支給額が見直されることに伴い、条例の一部を改正しました。

☆名寄市営球場条例の一部改正について

名寄市営サブ球場は、競技人口の減少に伴い試合が行われることがなくなり、設備も老朽化のため練習場としての利用のみとなっているため、サブ球場に関する規定を削除し、名寄市営球場の附帯施設として管理するため、本条例の一部を改正しました。

☆名寄市新規就農者等に関する条例の一部改正について

新規就農予定者の要件を、令和4年に制定された新旧就農者育成総合対策実施要綱に基づく要件に改正等するため、条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆燃料高騰対策生活支援事業費

事業の実施にあたり、郵便料、取扱手数料に不足が見込まれるため、685万7000円を追加しました。

☆ふうれん地域交流センター維持管理事業費

オール電化かつ蓄熱式暖房など施設設備の状況により、電気料高騰の影響を経営努力等で補うことが困難であるため、225万円を追加しました。

☆出産・子育て応援事業費

妊娠から出産・子育て期まで一貫した伴走型の相談・支援体制を充実させるとともに、妊娠・出産時の経済的支援を実施するため、2176万4000円を追加しました。

☆市道除雪・排雪対策事業費

積雪状況から不足が見込まれるため、積込運搬排雪業務委託料5770万7000円を追加しました。

☆地域交通対策事業費

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域間幹線バスの事業者に対し、名寄市地域間幹線系統応援給付金を給付するため、678万6000円を追加しました。

人事案件

◆副市長
橋 本 正 道氏（再任）

◆名寄市教育委員
高 橋 雅 樹氏（再任）

名寄市西5条南7丁目
名寄市西1条南3丁目

令和5年 第1回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
令和4年第4回定例会付託議案第1号	名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について	修正可決
令和4年第4回定例会付託議案第22号	名寄市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第1号	名寄市営球場条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	名寄市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	名寄市新規就農者等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	新市建設計画の変更について	原案可決
議案第9号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第10号	財産の取得について	原案可決
議案第11号	令和4年度名寄市一般会計補正予算(第11号)	原案可決
議案第12号	令和4年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第13号	令和4年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第14号	令和4年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第15号	令和4年度名寄市立大学特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第16号	令和4年度名寄市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第17号	令和4年度名寄市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第18号	令和4年度名寄市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第19号	令和5年度名寄市一般会計予算	原案可決
議案第20号	令和5年度名寄市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第21号	令和5年度名寄市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第22号	令和5年度名寄市食肉センター事業特別会計予算	原案可決
議案第23号	令和5年度名寄市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第24号	令和5年度名寄市立大学特別会計予算	原案可決
議案第25号	令和5年度名寄市病院事業会計予算	原案可決
議案第26号	令和5年度名寄市水道事業会計予算	原案可決
議案第27号	令和5年度名寄市下水道事業会計予算	原案可決
議案第28号	名寄市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決
議案第29号	令和4年度名寄市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
議案第30号	名寄市副市長の選任について	原案同意
議案第31号	名寄市教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第32号	名寄市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
議案第33号	名寄市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第34号	名寄市議会会議規則の一部改正について	原案可決

《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ							議	公	共				
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤靖	高野美枝子	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男	清水一夫	塩田昌彦				東川孝義	山田典幸	黒井徹	東千春
令和4年第4回定例会付託議案第1号	名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について	委員会の修正案について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		修正議決した部分を除く原案について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第19号	令和5年度名寄市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第20号	令和5年度名寄市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

第1回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎ LGBTQに関する差別を解消し、人権を守る法整備を求める意見書
- ◎ 不登校の公的対応を求める意見書

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます

令和5年度の市政執行



市政クラブ

山田 典幸 議員



問 新年度の重点施策について、新年度における新規事業を含めた重点施策について伺う。

答 公共交通DX導入事業、デジタル・デイバイド対策、保育所や除排雪業務におけるICTシステムの導入など、デジタル技術を活用した地域課題解決に向けた事業を重点施策として実施していく。

問 各種課題への対応について、老朽化する公共施設への対応に関して、関連する各計画に基づく現在の検討状況と、今後の取り組みについて伺う。

答 名寄市立地適正化計画のロードマップとして位置付ける名寄市公共施設等再配置計画を昨年度策定し、令和8年度までを計画期間とする

フェーズ1の対象施設を5施設とし、現在図書館を軸に再配置パターンなどを検討している。年度内に再配置パターンの絞り込みを行い、次年度は新図書館の候補地、必要な機能、規模について検討を行いたいと考えている。併せて他の施設についても、優先度や財源なども加味しながら、庁内検討委員会で検討・協議をしていく。

問 農業・農村振興施策について

国際的な影響による資材高騰や国における農業政策の転換などに加え、地域における少子高齢化による農家戸数の減少など、農業を取り巻く環境は目まぐるしく変化している。中長期的な視点での地域農業のあるべき姿を明確に

することが必要不可欠である
が考え方を伺う。

答 「日本一のもち米生産、アスパラ、馬鈴薯、南瓜、スイートコーンなど高品質で多様な作物づくり」が本市の特徴であり、目指すべき姿と考えている。国の米政策の転換でこれまでと支援の対象が変わること、より収益性の向上が求められることから、引き続き高収益作物を組み合わせた農産物の生産が必要である。また、スマート農業の推進、共同・協業化の推進の方向性のもとで、持続可能な農業・農村の構築に努めていく。

他の質問 地域経済の活性化について、名寄市立大学の運営について、教育行政につ



担い手が夢と希望を持てる農業施策を

議会日誌 2~4月

2/2	全国市議会議長会基地協議会 理事会及び総会（東京）	2/17	総務文教常任委員会	3/20	各会派代表者会議 予算審査特別委員会
2/3	市民福祉常任委員会	2/20	各会派代表者会議	3/22	議会運営委員会 予算審査特別委員会（～24日）
2/6	経済建設常任委員会	2/24	議会運営委員会 議会報特別委員会	3/23	議会報特別委員会
2/13	全国市議会議長会 社会文教委員会（東京）	2/27	第1回定例会開会 予算審査特別委員会	3/24	第1回定例会閉会 各会派代表者会議
2/14	市民福祉常任委員会	3/9	議員協議会 議会運営委員会	4/4	議会報特別委員会
2/15	経済建設常任委員会	3/16	議員協議会 議会運営委員会	4/6	全国自治体病院経営都市議会協議会 正副会長・監事・相談役会議（東京）

代表質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

今こそ平和主義を



平和行政の推進を

問 市長は防衛予算増大に対して「歓迎する」とコメントされていたが違和感があった。防衛費の異次元の膨張は国民生活を圧迫する大増税となることは明らか。真意を伺う。

答 本市には、陸上自衛隊名寄駐屯地が所在することから、その役割や必要性、自衛隊との共存共栄によるまちづくりの推進などを考慮し、防衛関係費の増額は「歓迎する」とした。

空き家発生の未然防止対策は

問 若者を対象とした住宅ニーズ調査を検討したことはあるか。また、団塊の世代全員が75歳に突入する2025年を見据え「家じまい」の相談窓口を開設する考え方につ

市民ネット

佐久間

誠議員



いて伺う。

答 保健・医療福祉についてのアンケートで一定の把握はできている。都市部で相談会を実施する自治体もあることから、情報収集や研究を進めたい。

除雪で直轄機動班増設を

問 今年度顕著になった排雪の遅れを見た時に、職員直轄機動班を1班増設し2班体制にする必要性はないか。機械力もアップすることで、市民ニーズに応えられるのではないか。

答 職員直轄機動班の増設についてはこれまでも検討を行った経過があるが、排雪に必要な機械の増強と新たな人材が必要になることから、早急な増設は難しい。直営作業

の体制づくりについて引き続き研究していく。

東病院の移転構想について

問 東病院は老朽化も進んでおり、どのように今後手だてをしていくのか伺う。現在の場所での改築、修繕か、まちなかか。現在、思い描く構想はあるのかについて伺う。

答 基本的には改築が必要。圏域の医療提供体制の中でどのような役割を担うかが重要。各関係機関、上川北部医師会などと十分協議検討を行う。建設場所は現在地、都市機能・居住誘導区域を含めての検討となる。

他の質問 令和5年の主な事業、平和教育・平和学習、老朽化施設の対策、名寄市のこれからの課題、名寄市立大学について、行政職員に期待を寄せて

令和5年の主な事業、平和教育・平和学習、老朽化施設の対策、名寄市のこれからの課題、名寄市立大学について、行政職員に期待を寄せて



老朽化の進行する東病院。「現実的な対処方針こそ安定した病院運営を下支えする」ことにつながる

議会運営委員会活動報告

令和5年第1回定例会の日程、議事運営などを協議するため、2月24日から3月22日まで委員会を6回開催しました。

2月24日の委員会では会期を2月27日から3月24日までの26日間とすること、代表質問は13日に、一般質問は14日から16日の3日間とし10名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は、名寄市営球場条例の一部改正についてなど27件で、付託議案2件の委員長報告を行い、内第4回定例会付託議案第1号議案「名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について」は、討論を行うこととし、第19号令和5年度名寄市一般会計予算のほか、5特別会計予算と3企業会計予算を、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託し、審査することとしました。

3月22日の委員会では、追加議案7件と付託議案第19号から第27号に係る委員長報告を行うことを確認しました。

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



市民と行政とのつながりを



市政クラブ 東川孝義 議員

ポストコロナの施策は

問 コロナ禍における行政の各部門における施策への影響は。職員の働き方はどのように変わったか。ポストコロナに向けての施策展開は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、行政の施策運営もこれまでとは異なる手法で対応してきたものも少なくない。職員が出席する会議や研修は、リモートや書面会議が主となった。ポストコロナに向けては、感染拡大前の資料や、市職員で以前の状態を知る者による相談対応などを参考にし、円滑な事業実施を進めていく。

魅力ある市立大学運営は

問 令和5年度より学科が競合する公立の旭川市立大学の影響と地域枠の考え方は。過去5年間の卒業生の就職・進学状況は。将来構想（ビジョン2026）後期実施計画に向けた課題は。



魅力ある大学運営に向けて新たな施策が期待される

答 令和5年度の一般選抜試験の前期と後期志願者は、社会福祉学科は減少したものの、栄養、看護、社会保育の3学科は微増し、旭川市内からの志願者も増加している。今回の旭川大学は私立大学として実施しているため併願が可能であり、入学手続きが終了しないと影響の分析は出来ない。将来構想の後期計画実施に向けては、学生の安定的確保が重要課題である。地域の課題を対象とした調査研究の推進、市内関係機関と連携した方策を検討する。



宗谷本線の実証事業について



市民ネット 富岡達彦 議員

名寄以北の並行バス実証事業

問 宗谷本線名寄以北の普通列車の運行時間帯に、並行する国道などにバスを走らせる実証事業を行う提案をするという発表があった。実証事業の具体策と、維持継続に資する布石となるのか考え方を伺う。

答 国交省からの支援メニューを活用しながら、鉄道の優位性を発揮できる仕組みを再考する。持続可能な2次交通を含め満足度と利便性向上を目指すための実証事業を提案。

問 衆議院国土交通委員会では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正」に取り組んでいる。また、北海道は「JR単独維持困難な8線区への支援事業」として、実証事業の支援に3425万円を計上している。提案の実証事業にかかる費用額はどの程度と見込んでいるのか。

答 国が示す支援メニューの要綱はまだ出ていない。急に



宗谷本線は地域の大事な背骨

出された時に備えて、考える方向性を確認したという段階。バス事業者などの議論もこれからであり、金額等の想定には至っていない。

問 深刻なバスドライバー不足の中で地域公共交通のシームレスな交通網体系を再構築し、地域外から来る人たちの足もしっかりと確保しなくてはならないがどう考えるか。

答 あくまでも、宗谷本線を残していくことが大前提。広域の2次交通の効率化を含め、大きな視点で丁寧な議論を重ねていく。

他の質問 物価高騰による市内経済・市民生活にかかわって、人権尊重と男女共同参画にかかわって

※シームレス：継ぎ目のない

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



風連地区の発展に向けて



市政クラブ 今村 芳彦 議員

問 風連地区の抱える課題とは

答 本市の出生数が減少するなか、風連地区では10年間平均15名程度で安定しているものの、将来的に減少傾向にむかうと考えている。小中学校の入学数に直結する課題であるが、規模にかかわらず児童生徒を真ん中に置き、より良い成長へ向けて環境整備に取り組む。

問 移転した名寄高校駅の状況と公共交通の課題は。

答 平均で通学生約30名の利用がある。また、移転元の東風連地区では風連駅までを結ぶ代替路線があり、住民の足は確保されている。

問 スクールバスの運行規定を見直す考えは。

答 学校統合により必要とされている児童生徒の通学に利用している。新年度から、中学校入学後も利用出来るよう

検討している。

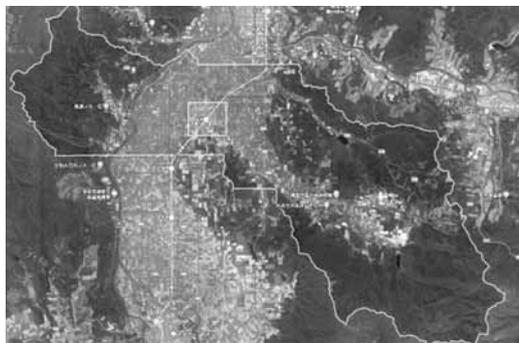
問 イベントの再開に向けて

答 イベント用テントやイス等の劣化が激しい。更新は。

問 イベント用テントやイスの劣化が激しい。更新は。所有物品で補充しているが、利用が困難になった場合、協議のうえ更新や修繕などで対応する。

問 風連地域でもゴミ収集を戸別収集に切り替えては。

答 ステーション方式のメリットもあり、今後アンケート調査等を行い検討する。



ふるさと風連の未来を守る



冬季スポーツの持続的・発展



市政クラブ 清水 一夫 議員

問 夏の期間に施設整備の実施

答 健康の森のクロスカントリーコースの整備はシーズン初めの下作りには多大の労力を要す。下作りは人力での整備であり、下作りが終わってから圧雪車のコース作りが始まる。また大会前日までコース巡視をして、コース脇の木の枝にできた雪玉の落下で選手が怪我しないよう、木にハシゴをかけて枝を切っている。この不備な箇所を夏の期間に整備を行う考えはあるか伺う。

問 ピヤシリ山の滑走検証でモニターツアーが企画された。その検討結果について伺う。

答 モニターからは「最上の



全日本中学選抜スキー選手権大会（なよろ健康の森）

パウダースノー」、「景観や樹木の間隔も良かった」、「アクセスに雪上車を利用できたことが非常に良かった」と高評価。「上級者には斜度や滑走距離が物足りない」との意見もいただいた。今後、商品化するためにターゲットを明確にし、雪上車の運用、ルール策定などの検討が必要である。

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



安心して安全な除排雪体制を

救急車両に道路空間確保を

問 救急車両等が災害時に出動しても乗用車が1台しか通れない道路が中心部で見受けられ、安全上非常に厳しい道路がある。市民からも苦情が来ており、道路への雪投げへの規制や罰則の考えと働き方改革に伴う今後の除排雪体制の考え方は。

答 排雪後に空いた路肩のスペースや交差点・道路の向かい側の雪山への雪出し行為については市内全域で後を絶たないが、西1条本通りや西3条本通りなど交通量の多い幹線道路において特に状況が悪いことは認識している。道路への雪出し行為は、道路法・道路交通法及び道路交通法施行規則により明確に禁止されており、罰則規定も設けられていることから、悪質な行為に対しては警察と連携が必要の特定や証拠が必要であり、

公明 高橋伸典 議員

まずは看板やのぼりを設置し、町内会と連携したチラシの配布など周知強化に取り組み。また働き方改革に伴う除排雪業務は、労働基準法で災害時と同様に例外規定に含まれ労働時間の延長が可能。しかし業者における担い手不足や高齢化が重なり人材確保に苦慮している。直接的な人材確保は各事業所に尽力していただき、道路管理者として人材確保支援事業を継続して実施する。

他の質問 買い物支援、8050問題、障がい者自立支援奨学金の企業代理返還



救急車両等に影響のない道路空間確保が急務



健全な財政運営について

行財政改革と財政運営

問 職員の定数管理と定員適正化計画について。

答 令和4年4月1日現在の職員数は337人で、今後は65歳定年制や再任用制度の適用、さらには定年が段階的に引き上げられる経過期間の新採用の影響から職員数は増加する。

問 組織・機構の見直し、民間活力の導入について。

答 総合政策部の新設など、職場会議による意見反映のもと事務の移管、事業運営の簡素で効率的な体制づくりに務めており、市民文化センターの指定管理制度導入は多様化する住民ニーズへの効果的・効率的な対応と住民サービスの向上と経費の削減等、効果があると認識している。また、PFIの導入については、なかなか進んでいないが、今後民間との協議を進める。

問 健全で持続可能な財政運

市政クラブ 塩田昌彦 議員

営について。

答 名寄市公共施設等総合管理計画、公共施設個別施設計画に基づき老朽化施設の対応として、施設の維持補修・建替え・除却、大型事業投資、さらには維持管理のための義務的経費や社会保障経費の増加が見込まれるなど、財政運営は厳しく、財政規律を見直すとともに事業の選択と集中に務め、自主財源及び特定財源の確保に努める。

問 定員適正化計画について。
答 今後の財政運営を踏まえ定員の適正化に務めていく。
他の質問 地域経済の活性化



財政運営

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



市内飲食店への支援について



市政クラブ 三浦勝秀 議員

市内飲食店について

問 市内飲食店の新規出店と閉店状況についてどのように捉えているのか。

答 平成28年から令和3年までの5年間で11・6%減少しており、宿泊業、飲食サービス業が他の産業に比べて、大きく縮小していると認識している。

問 飲食店が地域に及ぼす役割とあり方についてどのように考えているか。

答 飲食店には一定程度コミュニティスペースの要素もあり、中心市街地の活性化や地域経済の発展を図るため、市内飲食店が持続し、新規開業することが望まれる。

問 飲食店に対する支援について。

答 飲食店に特化した支援や補助金はないが、名寄商工会議所、風連商工会とも連携して必要かつ持続可能な対策を講じていく。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税の今年度の寄附件数や返礼品などの状況について。

答 令和4年12月現在で3877件となっており、アスパラガス、スイートコーン、メロンなどの農産品が高い評価を得ている。

問 寄附金額と納税額について伺う。

答 令和3年1月から12月の寄附は7100万円あり控除金額は3000万円で差し引き4100万円のプラス収支となり、経費を差し引いても550万円のプラスとなっている。



地域活性化に向けて



住み続けられるまちづくりを



市民ネット 倉澤宏 議員

空き家対策について

問 空家等対策計画の各種取り組みの進捗状況は。

答 空家等の適正管理に関する条例に基づき緊急安全措置の対応を3件に適用している。

問 緊急安全措置に関して隣家等の所有者不明住宅の落雪の危険が迫っている場合において、市として対応は可能か。

答 緊急安全措置については費用回収できなかった場合個人の財産に公費が投じられることとなるほか、所有者等ではなく市が対応するべきものと誤った認識が広がる恐れがあることから、頻繁に実施すべき性質のものではないと考える。屋根の雪に関しては条例第9条による対応は想定しておらず所有者が任意意識を持ち自身で対応いただくよう連絡を進めていく。

問 相続等がなされず適切に管理されていない空き家等に対する対応について相続財産

管理人制度の活用の考えは。

答 市長が申立人になれることは承知している。国のモデル事業も実施されていることから状況を見ながら今後の対応を考えていきたい

温浴施設の整備について

問 今後整備する公共施設の中で複合施設として、また官民連携事業で公衆浴場の整備をする考えは。

答 浴場業を取り巻く環境は厳しく、民間との連携整備も含め新たな施設の整備は困難。**他の質問** 地域医療対策について



屋根が雪に覆われる空き家。暖気で落ちた雪が隣家に押し寄せ損壊の恐れも

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



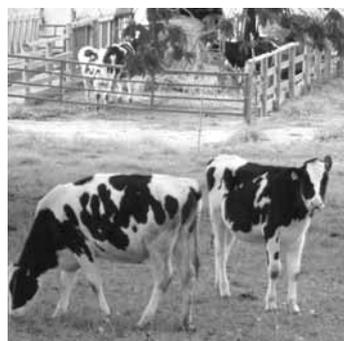
女性を基幹産業を守れ

日本共産党 川村 幸栄 議員

問 女性支援法を有効なものに

抱える女性への支援に関する法律」が成立。来年4月から施行される。略称「女性支援法」は、新たな女性支援の根拠法として、それぞれの意思の尊重、最適な支援、人権擁護と男女平等の実現を基本理念に掲げている。名寄市男女共同参画推進計画の中でどのように活かされるか重要だが、

問 地元酪農業を守る支援を
第2次名寄市農業・農村
振興計画の後期計画が示され



産業高校名農キャンパスの牛たち

た。コロナ禍やウクライナでの紛争が続く中、食料の安定供給や国内の農業生産への期待が高まっている。しかし、飼料や資材等の高騰で酪農家の窮状は自助努力でどうにかできる状況にないという。自給率向上とさらなる支援の考えは。

答 安全安心で良質な農産物を安定的に生産し、自給率向上に寄与していく。国では2期にわたり支援を実施、市においても約1283万円の支援を行った。関係機関と連携を図る。

他の質問 マイナンバーカードについて



市民の創意で未来に繋ぐ

市民ネット 山崎 真由美 議員

問 農業・農村の振興をめざして

農業における近年の課題は、国際情勢の不安定さも相まって厳しさを増している。第2次名寄市農業・農村振興計画の後期実施計画が新年度からスタートするにあたり、その方向性と課題への対応策について伺う。

答 総合計画の農業・農村における5つの基本事業を基本の考え方とし、情勢の変化や課題に対応し、持続的に発展していくことができるよう計画を時点修正している。

問 特に、厳しい状況にある酪農業に対しての支援策は。

答 化学肥料・配合飼料購入支援金給付事業による交付は、本年2月3日までに完了。配合飼料の交付申請は、22件で交付額は約1005万円となった。今後は加工乳の乳価値上げ決定、配合飼料の価格安定制度の見直し検討がなされている。関係機関と連携を



飼料高騰、燃料費高騰で厳しさを増す酪農経営

図り対応していく。

問 特徴を活かした教育の充実を

本年4月1日開校を迎える新設名寄高等学校は、名寄市唯一の高校となる。幼稚園から大学まで揃った、教育都市宣言に相応しい魅力あふれる高校に向けての支援は。

答 学校と地域社会との関係を活かした学校運営ができるよう、コミュニティ・スクールが設置される。地域全体での応援体制の構築に繋ぎ、できる限りの支援をしていく。

令和5年度予算審査特別委員会

全会計495億8399万円を可決

第1回定例会において、令和5年度の各会計予算について、全議員で構成する予算審査特別委員会（倉澤宏委員長・清水一夫副委員長）を設置し、付託された予算案を審査しました。

市の令和5年度予算は、一般会計で前年度比1・1%減の237億5572万4千円、国民健康保険特別会計ほか4特別会計で前年度比1・2%減の87億9069万円となり、企業会計を含む全会計の総額は、前年度比0・1%増の495億8399万円となりました。

3月20日、22日から24日の4日間で実質審議を行い、最初に各会派の代表による各会計全般に関する総括質疑および委員による質疑が行われ、男女共同参画の取り組み、空き家対策、子育て支援に関する施策、農業・観光に関する施策、DX推進事業、除排雪事業、防災対策、教育、市立大

学に関することや病院事業など、総合計画の重点プロジェクトや総合戦略を中心としたさまざまな案件について慎重に審査を行いました。

審査の結果、一般会計、国民健康保険特別会計については賛成多数により、その他の特別会計および事業会計は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、3月24日の本会議で委員長報告を行いました。



倉澤宏委員長(左)と清水一夫副委員長(右)

予算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

情報化推進事業費

問 デジタルディバイド対策事業について、高齢者向けのスマホ教室のことと思うが。

答 令和4年度は高齢者向けのスマホ教室を実施した。その際、同じスマホを参加者全員に提供し講習会を実施したが、キャリアが違うと分かりづらいとの意見があったため、新年度は自分のスマホを使用したスマホ教室を開催予定。

認定こども園等整備事業費

問 愛称の「あいあい」の周知と保育士の確保について伺う。

答 愛称はホームページや報道機関にも協力をいただき記事にしてきた。今後はあらゆる場面で愛称を全面的にアピールしていきたい。また、保育士の確保については大きなチャンスと考えている。今回保育システムなどを導入する予定でもあるので次世代を担う保育士の確保に努めていく。

NAYOROスタイル部活動改革推進事業費

問 地域部活動のこれまでの取り組みと今年度の課題について伺う。

答 令和4年度より事業を開始。部活動指導員の配置、合同部活動によるバスの移動事業、タブレットを活用した遠隔の指導という3つの柱によって取り組んできた。国の指針としては令和7年度末で土日の移行、平日は順次。指導者の高齢化などで一斉に移行できないことが大きな課題である。

街路維持管理事業費

問 街路灯LED化の工事にかかわって、住宅街で行っていくということについて詳しく説明してほしい。

答 令和4年度は、調査をかけ市内にある全ての街路灯について状況を把握した。その点検結果をもとに令和5年度から7年度の3力年で工事を進めていきたいと考えている。

総括質疑



持続可能で健全な財政運営を

市政クラブ 遠藤隆男 委員

名寄市の財政運営について

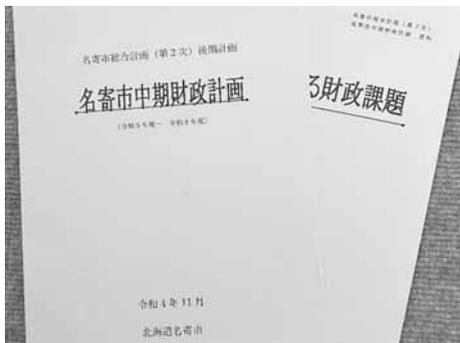
問 基金取り崩しの考え方は、

答 新年度の基金繰入金は、前年度肉付け予算比で3・2%減となったが、令和3年度当初予算比では38・3%増、令和2年度当初予算比では、56・1%増となっており、令和2年度から減債基金、令和4年度から合併特例振興基金、令和5年度からは地域福祉振興基金など、今まで計上しなくてもよかつた基金も取り崩し、収支の調整を図っている。今後も電気料金や燃料単価の高騰による経費上昇、社会保障施策に関する経費増加、老朽化する公共施設への対応など、山積する課題に対応し、行政サービスを継続するためには、今まで以上に基金に依存した財政運営を取らざるを得ないと推測している。

問 市債発行の考え方は、

答 後年度に負担を残さないよう計画的に借入れ、世代間

の負担の公平性や年度間の財政負担の平準化を図るため、有効に活用していく。また、市債には、後年度の普通交付税で償還額の一部が算入される有利な市債もあり、今後の施設整備の検討にあたっては、交付税導入がある有利な市債が活用できるかが重要な要件となる。今後も財政規律を遵守し、基金と市債のバランスを図りながら健全な財政運営に努める。



持続可能で健全な財政運営を



健全な財政を求める

市民ネット 高野美枝子 委員

令和5年度予算編成について

問 基本的な考え方、中期財政計画との金額の差の要因について伺う。

答 4つの基本的な考えに基づいて編成。新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響による先行き不透明な経済情勢、燃料価格、電気料金の高騰など、社会情勢や課題が多くみられる状況だが、本市が抱える喫緊の課題に取り組む予算となった。金額の差は物価や人件費高騰、DX導入事業、街路灯LED化、研修施設工期見直し、中小企業運転資金預託金の継続などがある。

問 市民ニーズにどうかたえ

答 ICT除排雪システム導入事業。デジタル・デバイス対策を含むDX推進。保育ICTシステム導入事業。農業担い手支援事業。ずっと住



今年の予算案について質疑した

まいる応援事業等に反映した。

問 次期ごみ中間処理施設、図書館のまちなか移転など大型事業が予定されている。総合計画後期計画以降を見据えた財政運営のあり方について伺う。

答 公共施設の再配置でどのような施設を建設するかは令和8年度以降の財政運営に影響があり、過疎債など有利な起債で対応するため、償還計画に耐えうるランニングコストを前提に令和5年度は詳細を詰める年になる。

議員協議会

1月26日 / 3月16日

1月26日と3月16日に議員協議会が開催され、新たな中間処理施設について説明がありました。

中間処理施設とは

従来のごみ焼却場とは異なり、ごみの再資源化や焼却灰の減少による最終処分場の延命、発生する熱エネルギーの再利用を目的とした、循環型社会の力ギとなる施設になります。



逼迫する財政のなか慎重な審議が求められる

施設は名寄市単独で整備するものではなく、近隣市町村も参加する事務組合のなかで設置運営されます。



ゴミの減量から循環社会へ

設備投資にかかる費用

昨今の資材価格高騰などの影響を受け、当初計画よりも建設費が増大することが予想されており、3月時点では99億円以上の予算が投入される見込みとなっております。

交付金や有利な財源を活用することはもちろん、最低限の設備構成とするなど、少し

でも負担を軽減した整備に取り組むこととなります。健全な財政運営を求めるところや、最低限の設備構成への不安など、議員から質疑が相次ぎました。

施設の役割と課題

施設は旧清掃センターを解体した跡地に整備されます。洪水ハザードマップによると7mの浸水が予想されることから、非常時でも対処可能な対策を行います。

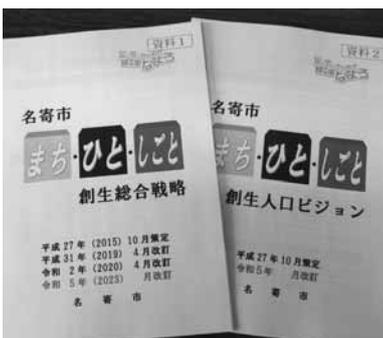
施設が稼働すると、不燃ごみや粗大ごみを破碎処理します。そのため、従来のごみ分別を見直すこととなりますので、事前の市民周知を徹底することや、ごみ分別全体に関わるモラル向上に向けて取り組むよう、議員から要望があげられました。

設備の稼働は令和9年を予定しています。健全な財政運営と、循環型社会の形成は、今後乗り越えなければならぬ大きな課題であると認識を新たにしました。

議員協議会

2月27日

名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略および名寄市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの改訂について説明を受けました。まち・ひと・しごと創生総合戦略は今後の人口減少を抑制し、持続可能な地域社会を創生するための重要な計画で、新型コロナウイルスや世界情勢の変化に対応できるように改定をしました。まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは、国勢調査の結果を反映した、人口動態の状況など将来像を予測推計した数値について予測以上に人口が減少しているとの説明を受けました。



名寄の未来へ向かって

総務文教常任委員会活動報告

第1回委員会報告

2月17日に第1回委員会を開催し、名寄市立大学から学生の就職活動、日本学生支援機構からの助成事業を活用し、割引助成を実施（学生食堂割引助成5698名・コンビニエンスストア商品割引券4111名）、令和5年度一般選抜入試志願状況について説明を受け、質疑を行いました。

教育委員会から名寄市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正、名寄中学校整備事業で校舎改築検討委員会11名に委員委嘱、補正予算の概要、名寄南小学校（令和4年度文部科学大臣優秀教職員組織表彰の受賞）、名寄市内高等学校魅力化推進委員会（令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰の受賞）、名寄市民文化センター（第75回優良公民館表彰の受賞）について

説明を受け、質疑を行いました。



基本設計委託業務で名寄中学校校舎等改築検討委員会を設置

総合政策部から名寄市ゼロカーボン推進再生可能エネルギー導入計画、名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略および人口ビジョンの改訂、名寄市公共施設等再配置計画、新市建設計画を令和7年度まで延長、名寄市営球場条例の一部改正、企業版ふるさと納税の企画が三菱UFJ銀行で

採用、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。



環境省の補助事業でゼロカーボン推進再生可能エネルギー導入計画策定

総務部から名寄市個人情報保護に関する法律施行条例の制定、第2次名寄市行財政改革推進基本計画の策定、名寄市DX推進計画（素案）基本理念「デジタルで未来を拓き、市民とともに人・暮らし・元気を育む」、令和4年度防災訓練、名寄市史編さん事業、冬の生活応援燃料券事業、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

議員会新年研修会

名寄市議会議員会の新年研修会が1月17日行われました。

研修会は智恵文にある住友ゴム工業（株）のタイヤテストコース建設にかかわって来られたOBの岸本義和氏と第三実験部シニアアドバイザーの橋本朋敬氏により名寄タイヤテストコース建設までの経緯等について講演をしていただきました。スパイクタイヤからスタッドレスタイヤの本格的普及やテストコース建設場所の選定など国際的情勢にも触れながらの説明に、全議員が熱心に聞き入り知見を深めることができました。今後は通年でテストコースの活用が行われるとのこと。地元企業の発展に期待したいと思っております。



貴重な講演内容に、真剣に聞き入りました

市民福祉常任委員会活動報告

付託案件について委員会を
5回開催

令和4年度第4回定例会付託議案第1号「名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について」の審査について、12月27日の委員会では説明員から条例改正の内容について資料をもとに説明を受け、審査に入りました。

1月16日の委員会では火葬炉の稼働日数、修繕計画、道内火葬場の使用料などについて資料をもとに説明を受け質疑に入りました。

23日及び30日の委員会では引き続き質疑を行い、2月3日は委員間協議、採決を行いました。

委員会の主な質疑は、4月からの使用料改定の提案が今回の回急になされた経過などについての質疑があり、説明員から「平成30年度に行われた総合計画中期計画の協議で、市の施設見直しの際は、火葬料の見直しを検討しなかったが、検討を行うよう担当課に指示があり検討を始めた。」「行政評価での市民意見も含めて見直しの必要性はこれまで指摘されてきた。長引く新型コロナウイルス感染症に加え、物価上昇の状況もあり、慎重に検討を進めてきたが、日常的に発生する費用ではなく、また生活困窮者を免除することが出来ることから、今後も安定した運営を市民に提供するため、今回見直しを提案するに至った。」との答弁がありました。

受益者負担25%の根拠、時



今後も安定した運営が望まれる名風聖苑

間のない中で市民周知、市民説明の質疑を行い、その後委員間協議を行いました。東川委員ほか1名の委員から『施行日「令和5年4月1日」を「令和5年7月1日」に改める』との修正案が出されたので、提出された修正案について提案者から説明を受けました。

5回目の委員会ではまず修正案について採決を行い、賛成多数により修正案のとおり可決すべきものと決定しました。次に、修正部分を除く原案について採決した結果、賛成多数により可決すべきものと決定しました。よって令和4年度第4回定例会付託議案第1号は、修正可決すべきものと決定しました。



料金改定が7月1日から施行

林活議連研修会

1月24日「森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟研修会」が開催されました。

上川総合振興局林務課から、佐々木康郎主幹をお招きして、「北海道の森林・林業を取り巻く情勢と課題」について、講演をいただきました。

北海道の森林林業の現況、コロナ禍での木材の動向、林業の担い手の育成確保、ICTを活用したスマート林業、ゼロカーボンに向けた取り組みなどについて、詳しく解説をいただきました。

ゼロカーボンに向けた森林の適正管理や地域材の適正流通、担い手の確保、デジタルを駆使した複合型の林業、未来を見据えた森づくりなどについて理解を深めました。



森林の存在は、人間社会に大切な福祉でもあります

経済建設常任委員会活動報告

商工会議所との意見交換会

令和5年第1回委員会を、

2月6日に名寄商工会議所で開催しました。当委員会では、「産業振興による地域経済活性化とまちづくりについて」を今任期の調査・研究のテーマとして、市内各関係団体と意見交換を行うこととしており、今回令和2年1月に引き続き2回目となる名寄商工会議所との意見交換会を実施しました。

市内商工業の状況や、商工会議所から市に対して提出された、「令和5年度行政施策に関する要望書」の内容について説明を受けた後、意見交換を行い、名寄市立地適正化計画などまちづくりに関わる施策の推進状況、コロナ禍における市内飲食業の現状、王子マテリア株式会社名寄工場敷地の利活用について、建設土木業における人材確保など多くの課題について意見が交わされ、市内商工業の現状と

課題について理解を深め共通認識が図られました。



商工会議所との意見交換会

第2次名寄市農業・農村振興計画（後期実施計画）

2月15日に第2回委員会を開催し、各部署より所管事項等について報告、説明を受けました。

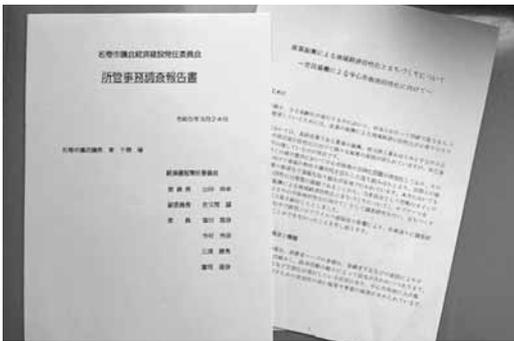
経済部から、第2次名寄市農業・農村振興計画（後期実施計画）の内容について説明がありました。その他、名寄市ずっと住まいる応援事業の検証・見直しについて、化学肥料・配合飼料購入支援金給付事業の報告、第4次名寄市食育推進計画の内容などについて説明がありました。

道路除排雪事業について

建設水道部からは、令和4年度道路除排雪事業について、降雪状況、除雪出動状況、道路排雪の進捗状況などの報告がありました。また、除排雪システム実証実験の概要について説明がありました。

所管事務調査報告

今任期の委員会テーマ「産業振興による地域経済活性化とまちづくりについて」に基づく調査研究の内容を、所管事務調査報告書としてまとめ、第1回定例会最終日に報告を行いました。



4年間の活動の集大成

議会スナツプ

ふうれん冬まつり

今年も市議会議員とOB有志が集まり、恒例の「ふうれん冬まつり」の雪像制作に挑戦しました。昨年はコロナ禍で規模縮小のため、滑り台が作れませんでした。今年は大きな滑り台の上に、干支のウサギを作成しました。バケツに詰めたシャーベット状の雪を、滑り台の上まで何度も運び無事完成させました。ウサギの様な軽い足取りとはならず、次の日からは体中が悲鳴をあげていました。冬まつり当日には肥料袋で作った手作りソリで滑る子供たちで賑わいを見せ、光栄にも会場内団体の部で特別賞を頂くこともできました。ただし来年の干支は「辰」なので難易度が非常に高そうです。



かわいいウサギと共に

特集 名大生とゲートボール

新年が明けた1月16日、昨年引き続き名寄市立大学学生の皆さんとの交流会が開催され、ゲートボールが行われました。

この日のために一工夫を加えたルールのもと、時には歓声やため息が聞こえてくることもあり、打ち解けた雰囲気の中で楽しい交流となりました。



学生・教員・議員、ともに入り混じった編成により協力体制が整い、チームワークが強固なものとなるにつれ、日頃の学生生活のこと、出身地と名寄市を比

連携教育科目「地域との協働Ⅱ・Ⅲ」の学びの一貫で議員と交流

すべての感想、将来の目標など、会話もはずみ、様々な情報交換も行うことができました。その中で、「学生寮の建設場所が街中になると聞いたのですが、大学から遠くなるのに何故ですか。」と率直な意見も聞くことができました。大変有意義な時間となりました。



令和4年度における行政視察の受入状況

全国の市町村議会から行政視察を受け入れています。

視察年月日	自治体名（議会名）	視 察 事 項	視察人数
4月26日	愛媛県西条市	街なかなぎわい事業について	12名
5月10日	苫小牧市	医療介護連携ICTについて	5名
7月27日	美幌町	防災事業について	3名
		子育て応援事業について	
11月9日	兵庫県洲本市	冬季スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大について	4名

市民の声を市政に生かします!! 議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、
また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴するには、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温と手指消毒のご協力をお願いします。（5月以降変更になる可能性があります。）
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



☆ き ぽ う ☆

私の仕事



さの けいち
佐野 圭市

私は、もち米・とうもろこし・かぼちゃ等を生産している農業の会社に勤めています。

農業との出会いは、田植えのアルバイトから始まりました。親が農家でもなく、特に農業に興味があった訳ではありませんでしたが、仕事を探している時に誘われたことがきっかけでした。体を動かすことが好きなので、意外と自分に合っている仕事だと感じました。農業の専門知識が全くなかったので、農家さんから手とり足とり一から十まで教えてもらいながら、経験を積んできました。農業に関わるうちに興味も湧いてきてこの仕事を続けていきたいという気持ちになり、現在に至ります。

まだまだ未熟で知識不足や経験不足を感じており、毎日が勉強の日々です。少しでも会社や名寄の農業に貢献できるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

畑作農家の新たな挑戦



えん どう まどか
遠藤 円

我が家は畑作農家ですが、この冬念願のキッチンカーを始動することができました。自家農場で栽培したジャガイモやカボチャだけでなく、地元で生産されたSPF豚や豆腐・油あげやしいたけなど食材にこだわった地産地消型のスープのキッチンカーです。何度も試作をくり返し、看板やロゴマークは娘達の手も借りて家族でつくる、カラダもココロもあつまるお店づくりを目指しています。

出店を重ねていくうちに、より作り手の想いも伝わるよう投稿や看板を改良していくと、告知を見て足を運んでくれる方だけでなく、初めて食べていただく方も増え、「美味しい」や「また出店してね」と言われる度に、チャレンジして本当によかったとうれしく思うばかりです。これからも皆さんとの出逢いで繋がりを広げていき、畑作経営にも活かしていきたいです。

表紙の写真は「JOCジュニアオリンピックカップ2023全日本ジュニアスキー選手権」ノルディック種目に参加した名寄市の選手です。

3月10日から12日に名寄ピヤシリシャンツェ、名寄健康の森を会場に開催された「JOCジュニアオリンピックカップ兼全国中学校選抜大会」ノルディック種目に5名の選手が出場しました。

ジャンプは下川ジャンプ少年団、クロスカントリーは名寄ピヤシリクロスカントリー少年団に所属してトレーニングを行っており、見事複数の入賞者を輩出することができました。名寄市の環境・強みを活かした冬季トレーニングを積み重ね、次年度の更なる飛躍を目指していきます。



編集後記

3月24日令和5年第1回定例会が閉会し、私たち議会報特別委員会が発行する「議会だより」も5月1日付で最終となり、この4年の任期中に議会報優秀賞を受賞した2力所の視察を行い、市民の皆様により議会を身近に感じてもらえるよう議会だよりを編集に取り組み、参りました。▼一般質問の日程や定例会終了後の速報や議会報告会等のお知らせのため「かわら版」の発行や市内の高校生と大学生に登場していただき、特集を組みました。各常任委員会活動もわかりやすく見やすいように文字数を決め写真も多用し、市民の皆様にも読んでいただき愛される議会報を目指した4年間でした。本

